

PRP 療法全体の流れ

整形外科領域では、PRP 療法を実施する前に1度診察を行い、2回目の来院時に PRP 療法を実施します。

【概 要】

1 回目の来院(保険診療)

- ・診察して PRP 療法の適応があるかどうかを検討します。
- ・検討の結果をお伝えします。
- ・同意書をお渡しします。(PRP 療法の長所・短所を十分ご理解いただいたうえで実施を希望された際、同意書にご署名いただきます。)
- ・PRP 療法実施日を決定します。
- ・念のため、実施前の血液・感染症等検査、身体機能測定を行います。(検査の結果によっては後日 PRP 療法が行えない旨を連絡させていただくことがあります)

2 回目来院(自費診療)

◎PRP 療法を実施します。

3 回目来院(保険診療)

- ・PRP 療法実施から 1 週間後実施した部位の状態を診察します。

4 回目以降来院(保険診療)

原則、PRP 療法実施から半年間。

- ・実施後の経過を診察します。
- ・なお、医師の判断により、経過観察期間を短縮・延長する場合があります。

【詳 細】

1 回目の診察:保険診療

1) 持参するもの

- ・保険証・マイナンバーカード・診察券(再診者)
- ・お薬手帳または現在使用中のお薬がわかるもの(市販薬を含む)
- ・血液・感染症検査費用

2) 受付

- ・問診票をご記入いただきます。
- ・お薬手帳等現在のお薬が分かるものをお預かりします。
- ・診療情報提供書をお持ちの方は受付にてお預かりします。

3) 診察

- ・診察して PRP 療法の適応があるかどうかを検討します。
- ・検討の結果を説明します。
- ・内服薬の確認・休薬の説明
休薬の必要性がある場合、処方した担当医からの休薬の可否について確認します。そのうえで、休薬に関して具体的にご説明します。

これまでの説明を聞いたうえで、PRP 療法を希望される場合、PRP 療法に関する説明書・同意書をお渡しします。

お渡しした説明書に基づき PRP 療法について詳しく説明し、次回 PRP 療法実施の日時を決定します。

4) 血液・感染症検査

- ・感染症及びスクリーニング検査のため、採血を行います。
- ・血液・感染症検査料(15,000 円)をお支払いいただきます。

5) 説明

- ・PRP 療法実施日の流れと、休薬の流れについて具体的に説明します。

6) 希望される方は、理学療法士による PRP 療法実施後のリハビリの内容と必要性について説明します。PRP 療法 1 週間後(3 回目診察時)の予約を行います。

7) 会計

- ・保険診療分の費用をお支払いいただきます。
- ・費用や支払い方法について説明します。

2 回目の診察 (PRP 療法実施日): 自費診療

1) 持参していただくもの

- ・診察券・マイナンバーカード
- ・お薬手帳または現在のお薬がわかるもの(サプリメント、市販薬を含む)
- ・PRP 療法に関する説明書・同意書
- ・費用

2) 受付・費用のお支払い

- ・ご予約時間の 30 分前に来院して下さい
- ・あらかじめご署名いただいている 以下の同意書をお預かりします。
- ・PRP 療法に関する説明書・同意書
- ・お薬手帳または現在のお薬がわかるものをお預かりします。
- ・本日の体調をうかがい、体温／血圧測定等を行います。
- ・PRP 療法の費用(2 種:130,000 円・3 種 110,000 円)をお支払いいただきます。

3) 診察

- ・PRP 療法実施の希望について最終確認いたします。

4) 採血

- ・PRP 療法に必要な採血を行います。(男性 30ml・女性 32ml)
- ・採血後、加工作業の間約 60 分間、院内にてお待ちいただきます。

5) PRP 療法実施

- ・PRP を患部に注射します。
- ・医師より、実施後の注意点を説明します。
- ・リハビリテーションについて説明します。

6) 看護師からの説明

- ・実施後の注意点を説明します。
- ・休薬していた内服薬の再開についてご説明します。
- ・次回以降の診察予約を行います。

7)ご帰宅

- ・ご帰宅の際は、必ず受付にお立ち寄りください。

◎食事/水分/入浴

- ・食事制限はありません。普段通りお召し上がり下さい。PRP療法実施前24時間は、普段より多めの水分摂取を心がけて下さい。
- ・水分摂取量が少ないと、血液採取時に気分が悪くなる場合があります。普段の水分量より500mlほど多めにお飲み下さい。
- ・当日(PRP療法実施後)は感染予防の為入浴・シャワーをお控え下さい。PRP療法実施当日は、入浴を済ませてから来院して下さい。

◎PRP療法実施後のご注意

- ・当日(PRP療法実施後)は、個人差はありますが腫れぼったさや違和感がある方もいらっしゃいます。この場合、実施部位を冷やしていただくと、症状は数日で改善します。
- ・1週間以上痛みが持続される場合は、当院にお問合せ下さい。痛み止めの使用に関しましては、担当医の処方する薬のみをご使用下さい。薬によっては、治療に影響する場合がありますのでご注意下さい。
- ・整形外科領域におけるPRP療法実施後14日間は活動レベルを最小限に、実施前より活発にしないことが推奨されています。運動はお控えいただきますが、痛みが悪化しない程度のウォーキングは可能です。

3 回目の診察 (PRP療法実施1週後):保険診療

1)持参していただくもの

- ・保険証・マイナンバーカード・診察券
- ・お薬手帳または現在のお薬がわかるもの(市販薬を含む)

2)受付

3)診察

- ・投与より1週間経過後に実施部位の状態観察を行います。
- ・必要な場合は検査を行います。
- ・リハビリテーションを開始します
- ・PRP療法実施後、1か月経過時の診察予約を行います。

※継続したPRP療法の施術の予定がある場合は、次回のPRP療法施術日に経過観察を行うこととし、1週間後の経過観察を行わない場合があります。

4)ご帰宅

- ・ご帰宅の際は、必ず受付にお立ち寄りください。

4 回目以降の診察 (PRP療法実施1ヵ月後・それ以降):保険診療

1)持参していただくもの

- ・保険証・マイナンバーカード・診察券

- ・お薬手帳または現在のお薬が分かるもの(サプリメント、市販薬を含む)

2) 受付

3) 診察 実施後の状態を診察します。 必要な場合は検査を行います。

- ・1 か月後の診察予約をいたします。
- ・理学療法士による身体機能測定
- ・問診、関節可動域測定、筋力測定などの身体機能測定を行います。

4) ご帰宅

- ・ご帰宅の際は、必ず受付にお立ち寄りください。
- ・必要に応じて定期的な受診又は連絡を継続し、最長 6 か月間経過観察をさせていただきます。実施部位の経過観察は、医師の判断で短縮・延長する場合があります。
- ・ご不明な点は、当院にお問い合わせ下さい。